

キッカケ や食べ物などおいしいものがたくさ するなど、自然を満喫していました。 強い思いで、家族4人で島原へ移住 9月に開業した義理の兄の勧めと、 も会社勤めをしていましたが、昨年 福岡から島原へ移住した ということを特に感じています。 な地域であることや親切な人が多い きる最適な環境だと思います。 兄家族と一緒に論所原でキャンプを してきました。 この機会に島原で農業がしたいとの んあります。のびのびと子育てがで 島原の印象 実際に移住してみて、農業が盛ん 福岡に住んでいるときは、2人と 島原には、海や山がきれいで、水 島原は妻の実家で、帰省の際には、

働き方を見直して得たもの して盛り上がっていけばもっと良い 八□が増えて、まち全体が活性化

会社勤めとは違って、自分たちで、



どに参加して、皆さんと交流を深め ていきたいです。 物を使った加工品を製造・販売して と一緒になって、おいしい野菜を作 全国の皆さんに届けていきたいです。 **看色」にこだわり、島原半島の農作** ったり、また、「無添加、無香料、 に関心をもってもらい、 プライベートでは、地域の行事な やりがいがある農業をもっと若者 地元の農家



上山 裕太郎さん (農作業担当)

▼上山 伊瑞美さん (経理、販売担当)



言っていただくときが、とても嬉し やりがいを感じます。



右 報しまばら 2







農業法人「㈱しまばら創生」 雇用促進事業適用第1号となった

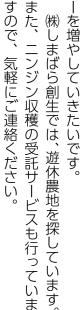
給や安心安全の食の提供を目指して、 半島の特産品の販路拡大、 ジン、サツマイモ、バレイショ、 栽培し、生姜パウダーや干しイモなどの加工品も 目社製造・販売しています。 人です。 地元で農業の継続的な発展と、 ㈱しまばら創生は、 自社生産の農産物や加工品を中心とした島原 約3ヘクタールの農地でショウガ、ニン 昨年9月に設立した農業法 そして、 カボチャなどを 雇用の確保を図 食料の安定供 6次産業化

代表者から2人の今後に向けてのエー

ル

担えるように頑張ってほしいです。 ありますが、それぞれの分野で、中心的な役割が 開業してまだ日が浅いので、いろいろな問題も

今後の抱負など





㈱しまばら創生 代表 平 元洋さん **2** 61-1831

農林水産業雇用促進事業

使った商品開発をはじめ、ブランド化を図り全国

農業の基盤をしっかり確立して、

島原の野菜を

に直販できるような仕組みをつくって、リピータ

認定農業者が、転入者を新規雇用した場合に給与を補助する制度です。

▶補助対象

次の要件を満たし、新たに正規雇用し、1年以上雇用する見込みがある場合 のみ支給します

- ・農業者…市内在住の認定農業者
- ・転入者…市内に移住後1年以内に雇用された人(ただし、親元就農は対象外)

▶補助率

- ①1人で移住した人を雇用した場合
 - …1人当たりの賃金の15%以内(年額上限36万円)
- ②2人で移住した人を雇用した場合
 - …1人当たりの賃金の20%以内(年額上限48万円)
- ▶補助対象期間 連続 12 カ月を上限
- 問い合わせ先 農林水産課農林畜産班(☎68-5486)



とが期待されます。 この後に続き、 者たちの模範となって頑張っていただくことで、 ご夫婦が島原の新たな農業経営モデルとして、 今回紹介しました、 多くの人たちが島原に移住するこ ㈱しまばら創生と上山さん